

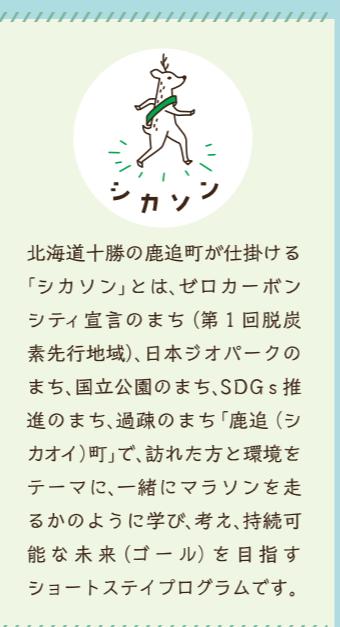
2泊3日  
ツアー

## モデルプラン

北海道十勝西北部に位置する鹿追町。広大で豊かな自然環境の中、体験を通じて大地の成り立ちや未来の地球環境について共に学ぶことができます。  
課題解決型ワーケーション、企業研修、チームビルディングや教育旅行にオススメのプログラムです。

1日目		2日目		3日目	
7:55	羽田空港発	7:00	朝食	6:00	熱気球搭乗体験 or 然別湖 カヌーツアー
9:25	とかち帯広空港着	8:30	然別湖 ザリガニ駆除体験	8:00	朝食
11:00	鹿追町到着 オリエンテーリング	12:00	昼食	10:00	ワークショップ 未来を考える
12:00	昼食	13:30	ライディングパーク 乗馬体験	12:00	昼食
13:30	バイオマス施設視察 チョウザメ・マンゴー にも会える!	15:30	ワークショップ 環境を学ぶ	13:30	十勝観光
15:00	ジオパーク視察	18:30	夕食	15:25	とかち帯広空港発
16:30	然別湖 ザリガニ駆除準備	20:00	焚き火とともに 湖畔で過ごす夜	17:15	羽田空港着
17:30	ホテル風水 チェックイン				
19:00	夕食・温泉 フリータイム				

## アクセス



お問い合わせ・お申し込み先

一般社団法人 En [shikaoigreent@gmail.com](mailto:shikaoigreent@gmail.com)



発行元：鹿追町

(公社)北海道観光振興機構の「令和4年度地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業」の支援を受けています。

環境を学ぶ 未来を考える

# 鹿追町



## 水素ステーション

鹿島建設株式会社 小林さん(2021年参加)

地域産のクリーンなエネルギーを作り出している鹿追町。持続可能な地域づくりを学べます。鹿追町で作る水素は、乳牛のふん尿が原料です。



Q. 家畜のふん尿が原料ってどういうことですか?

A. 酪農の盛んな鹿追町には乳牛のふん尿の適切な処理、市街地周辺の環境(臭気)改善などを目的としたバイオガスプラントがあります。処理過程で生産されるバイオガスによる発電のほか、消化液の畑地還元、**水素の製造・活用**、発電の際に生じる余剰熱を活用したチョウザメ飼育、マンゴー栽培を行っています。

Q. 水素の利用って何がすごいのですか?

A. 水素は利用時にCO<sub>2</sub>を発生しません。貯蔵しても減らず、燃料電池という発電設備を使い電気や熱を供給することができます。車を走らせることや停電時に電気を供給することもできます。

Q. 水素の可能性教えてください!

A. 鹿追町で作る水素は乳牛のふん尿が原料ですので、原料もカーボンニュートラルで、**牛1頭のふん尿で燃料電池自動車が1年分走れる**ポテンシャルがあります。ミルクだけでなく、エネルギーを生み出す地球にやさしいまちづくりが鹿追町でできるかもしれません。

Q. 然別湖の魅力を教えてください!

A. 僕は写真部なので、湖底線路(遊覧船を冬に引き揚げる場所)や紅葉、湖畔の魚、写真スポットがたくさんあるところです。

Q. おすすめの時期はいつですか?

A. 冬のコタンシーズン、雪解けの4月に体験できる流氷ウォーク、10月の湖面からみる紅葉が特におすすめです。夏は然別湖に**来るだけで涼しい**ですよ。風穴はナキウサギも見ることができ、さらにもっと涼しい場所です。

Q. 体験する上で気をつけた方が良い事はありますか?

A. 自然は綺麗でもあるけれど、然別湖も少し沖に出れば深い場所もあって、自然の厳しさも学ぶことができます。ガイドさんの話はしっかり聞いて欲しいです。

## アクティビティ

鹿追高校 松本さん

然別湖は僕にとって「落ち着ける場所」です。湖から見る景色がとてもキレイなのでカヌー、シーカヤックを体験するのがおすすめです。



## とかち鹿追ジオパーク

鹿追高校 生澤さん・坂本さん・山根さん

火山と凍れが育む命のものがたり。ジオパークは、地域の貴重な自然を保全・教育・観光に活用し、持続可能な社会を目指すプログラムです。ジオパークビジターセンターは、知識の先取りができる場所です。



Q. ジオパークの魅力教えてください!

A. 実際に体験すると、本で学ぶより体感として記憶に残ります。火山が噴火し火山灰になり土になる。元々興味はあったけど日常が忙しくて調べたりしないので、一連の流れが全部ここでわかるって凄い! 地理、SDGsのこと「私知っています!」と言えるので優越感にひたれます。

Q. 風穴ってなんですか?

A. 風穴って手を入れるだけで冷たかったです。中から冷たい風が吹いてくるんだよね。風穴って岩が積み重なってるだけなのに、なんで冷たくなるのか不思議だつた。その不思議もここで学べるんですね!

見て  
さわって  
感じて  
学ぶ

## 然別湖 特定外来生物

株式会社 HBA 石川さん(2022年参加)

大雪山国立公園内の然別湖には、特定外来生物の「ウチダザリガニ」が生息しています。駆除活動を通じ「持続可能」な国立公園を目指しています。



Q. ザリガニ駆除体験いかがでしたか?

A. とっても大変だったけど、大変さを実感することで、この問題に取り組む難しさを学ぶことができました。外来生物なんて、商品開発して食べてしまえば課題解決すると思っていたけれど、実際のザリガニは殻が思いのほか硬いし、食べる部分も少なくて、そう簡単には利用できないと感じました。実際に来て体験したからこそ得られた学びだと思います。

Q. ウチダザリガニどんな味でしたか?

A. エビやカニのよう。かなり美味しい! 手が止まらないほどです。